



サラサヤンマは晩春に成虫が出現するトンボです。東日本では生息地が少ないトンボですが、休耕田が増えたこともあって、茨城町でもハンノキなどの木立に囲まれた湿地、水田、休耕田などで見かけられます。

▼我が国で最小のヤンマ

サラサヤンマは日本固有種で、体長60mmほどの我が国最小のヤンマです。北は北海道から南は屋久島まで広く分布していますが、数はあまり多くありません。

体の青緑色の斑紋や、腹部背面の小さな紋の模様が「更紗模様」に似ていることで「サラサ」の名がつけました。

▼ホバリングの名手

本種は5〜6月に出現し、期間は長くありません。成虫は明るいとこが好んで、晴天の日はハンノキなどのま

里山に育む生きものたち

53 サラサヤンマ

(トンボ目 ヤンマ科)

学名 *Sarasaeschna pryeri*
(Martin, 1909)

文・写真 / 小菅 次男

ばらに生えた、木立に囲まれた湿地の上や水田の上などでの縄張り飛行が見られます。

特に羽ばたきながら静止飛行するホバリングの名手で、空中のいか所で長時間動かずに止まって飛行をし、人を警戒せず近くで行うこともあります。

▼謎の多い幼虫の生態

サラサヤンマの産卵は特異です。トンボなのに、水のほとんど無い湿った土の中、朽木、枯葉などに卵を産みまします。雨が降れば水溜りが出来る程度の湿地で、孵化した幼虫の生活は長い間分ならず、ヤゴも発見されなかった謎だらけのトンボでした。このような特異な環境でしか生息できない生物を、いかにしたら守れるかは、これから私たちの大きな課題です。



「にじをみたよ」

はぎや かずさ (6歳)



「あめふり」

たぐち れみ (5歳)



ちびのこアート
飯沼こども園



編集・発行 / 茨城町 町長公室 秘書広聴課

〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町小堤1080 TEL 029-292-1111 FAX 029-292-6748

ホームページアドレス <http://www.town.ibaraki.lg.jp/> メールアドレス ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp

DATA

茨城町の人口と世帯数

※カッコ内は前月比です。
(住民基本台帳 平成28年8月末現在)

- ◆総人口 33,441人 (-42)
- 男 16,734人 (-14)、女 16,707人 (-28)
- ◆世帯数 12,889世帯

DATA

茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

再生紙を使用しています



環境に優しい大豆インクを使用しています